

2024年5月10日

各位

会社名 富士石油株式会社
 代表者名 代表取締役社長 山本重人
 (コード番号：5017 東証プライム市場)
 問合せ先 総務部部長 鈴木龍司
 TEL：03 - 5462 - 7803
 URL：https://www.foc.co.jp/

2024年3月期通期業績予想値と実績値の差異に関するお知らせ

2024年2月9日に公表の2024年3月期通期連結業績予想と、本日公表の実績値に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 2024年3月期通期連結業績予想と実績値の差異 (2023年4月1日～2024年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A) (2024年2月9日発表)	728,300	5,700	7,900	6,900	89.42
今回発表実績 (B)	723,730	16,199	18,735	15,516	201.09
増減額 (B-A)	△4,569	10,499	10,835	8,616	
増減率 (%)	△0.6	184.2	137.2	124.9	
(ご参考) 前期実績 (2023年3月期)	850,863	5,028	4,704	3,575	46.36

2. 差異の理由

前回の予想は、第4四半期平均でドバイ原油価格を75ドル/バレル、為替レートを145円/ドルの前提で策定いたしましたが、同期間のそれぞれの実績は、81.3ドル/バレル、148.6円/ドルとなりました。

売上高は、一部装置において軽微な不具合が発生した影響により販売数量が減少し、前回予想を45億円下回りました。一方損益については、原油価格が想定より上振れて推移したことから在庫影響（総平均法及び簿価切り下げによるたな卸資産の評価が売上原価に与える影響）による原価押し下げ要因が96億円（前回予想は38億円の原価押し下げ要因）と前回予想比で拡大したことに加え、石油製品市況が堅調に推移したこと等により、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益について、前回予想を上回る結果となりました。

以上